



# 日本物理学会 領域2 運営会議

日本物理学会 第80回年次大会  
2025年9月17日12時15分～13時15分  
広島大学 経済学部 講義棟B159

# 2025年度の役員体制・役割分担

## ( 2025.4～2026.3 )

領域代表	比村 治彦 (京都工繊大)
領域副代表	江尻 晶 (東京大)
領域前代表	長崎 百伸 (京都大)

## (役員 2023.10～2026.9 : 領域委員 2024.4～2026.3 )

役員	徳澤 季彦 (核融合研)
役員	松山 顕之 (京都大)
役員	安部 勇輝 (大阪大)

## (役員 2024.10～2027.9 : 領域委員 2025.10～2026.9)

役員(領域運営委員)	岩田 夏弥 (大阪大)
役員(領域運営委員)	大石 鉄太郎 (東北大)
役員(領域運営委員)	川面 洋平 (宇都宮大)

## (役員 2025.10～2028.9 : 領域委員 2026.4～2028.3)

役員(領域運営委員)	辻井 直人 (東京大)
役員(領域運営委員)	金 史良 (京都大)
役員(領域運営委員)	古賀 麻由子 (兵庫県立大)

	2025.10からの役割分担
大会(プログラム編集)	大石(正)、川面(副)、安部、金、松山
運営委員の連絡責任者	川面
シンポジウム・招待講演・企画講演	岩田(正)、大石(副)、古賀、安部
企画セッション(領域2独自)	川面、金
3学会合同世話人	川面(正)、辻井、安部
チーム物理との合同調整担当	川面(正)、辻井、安部
表彰・若手賞	江尻(副代表)、徳澤(共同研究世話人)
学生優秀発表賞	比村、江尻
学生優秀発表賞担当	松山(正)、川面、辻井
会計・予算	比村(代表)
学会連携	長崎、比村、徳澤、川面、辻井
広報(ホームページ)	徳澤
メーリングリスト	徳澤
編集(JPSJ)	江尻(副代表)
役員会・運営委員会幹事(書記)	川面(正)、松山

## 2025年9月末で任期終了の役員3名

(役員 2022.10～2025.9 : 領域委員 2023.4～2025.3)

佐々木 真 (日本大学)  
三瓶明希夫 (京都工繊大)  
菊池崇志 (長岡技科大)

来年2026年10月開始の次期役員3名の推薦願

- 2026年春季大会(オンライン)での領域2運営会議で決めます。
- 役員への立候補を希望される方は、年内に領域代表・比村まで連絡ください。

## 2026年4月からの領域代表、副代表

次期領域代表 江尻 晶 (東京大)

次期領域副代表 藤岡慎介 (大阪大)

10月20日月曜日 が学会事務局指定の推薦フォーム入力締切

## 代議員候補者推薦(第82～83期)

代議員の役割としては、総会と臨時総会に出席して議決権を行使することと(委任状も可)、2年に一度の会長候補者の選出がある。

領域2から4名の代議員候補の推薦ができる。

代議員は1期1年で2期が任期(2年間)で、2回まで継続できる。つまり4年間継続できる。

### 第79～80期

稲垣(2回目)、千徳(1回目)、藤堂(1回目)、長崎(2回目)

### 第81～82期

千徳(2回目)、藤堂(2回目)、比村(1回目)、江尻(1回目)

### 第82～83期(提案)

比村(2回目)、江尻(2回目)、**藤岡(1回目)、募集中(1回目)**

# 2025年春季大会 (online) 学生優秀発表賞受賞者

※応募者数30名の中から以下の5名を選出しました。

竹中 健翔 氏 (京大エネ科)

「大域的ジャイロ運動論シミュレーションによる実配位における微視的不安定のベータ値依存性解析」

酒井 彦那 氏 (九大総理工)

「乱流抑制を目指した乱流信号のリアルタイム制御」

高橋 夢翔 氏 (東北大工)

「トカマク炉におけるシンクロトン放射を利用したプラズマ電流駆動の解析」

木内 康一 氏 (東大院工)

「相対論的透過機構による高効率イオン加速機構のダイナミクスとプラズマ開口からの放射との系統的關係」

小川 瑛仁 氏 (京都工繊大)

「電子プラズマ渦の合体過程の観測」

## 第20回(2026年)物理学会領域2若手奨励賞候補者

- 39歳以下の6名から応募がありました。
- 審査委員会において2名の候補者を選出しましたので、このまま報告します。
- 最終審査は理事会で行われますが、否決された事例を知りません。
- 今回、候補者から漏れた4名の方々には、来年度も応募してもらって下さい。

## 領域委員会(2025年6月12日)報告

### 1. 領域Webページの日英併記の推奨

若手奨励賞や学生優秀発表賞の募集に際して、外国人会員に各賞のアナウンスが行き届いていない現状の改善が目的です。領域2もできるところから始めました。

2. その他、招待講演等の審議等ありましたが、領域2の件で何も問題になりませんでしたので、割愛します。

# 2026年オンライン春季大会でのシンポジウム等の提案

学会の公募受付は10月下旬～11月上旬頃になる見込みです。

提案者は、**10月20日(月)までに**役員会へ案を提出するようにお願いします。

運営会議後は、役員会にて審議します。

- 企画講演  
領域2独自の企画セッションが2つ進行中です。  
学会本部へと提案する企画講演は0件です。
- 招待講演(現在までに提案なしです。)
- 若手奨励賞受賞記念講演(2件の予定です。)
- シンポジウム(現在までに提案なしです。)

## 代表からの提案

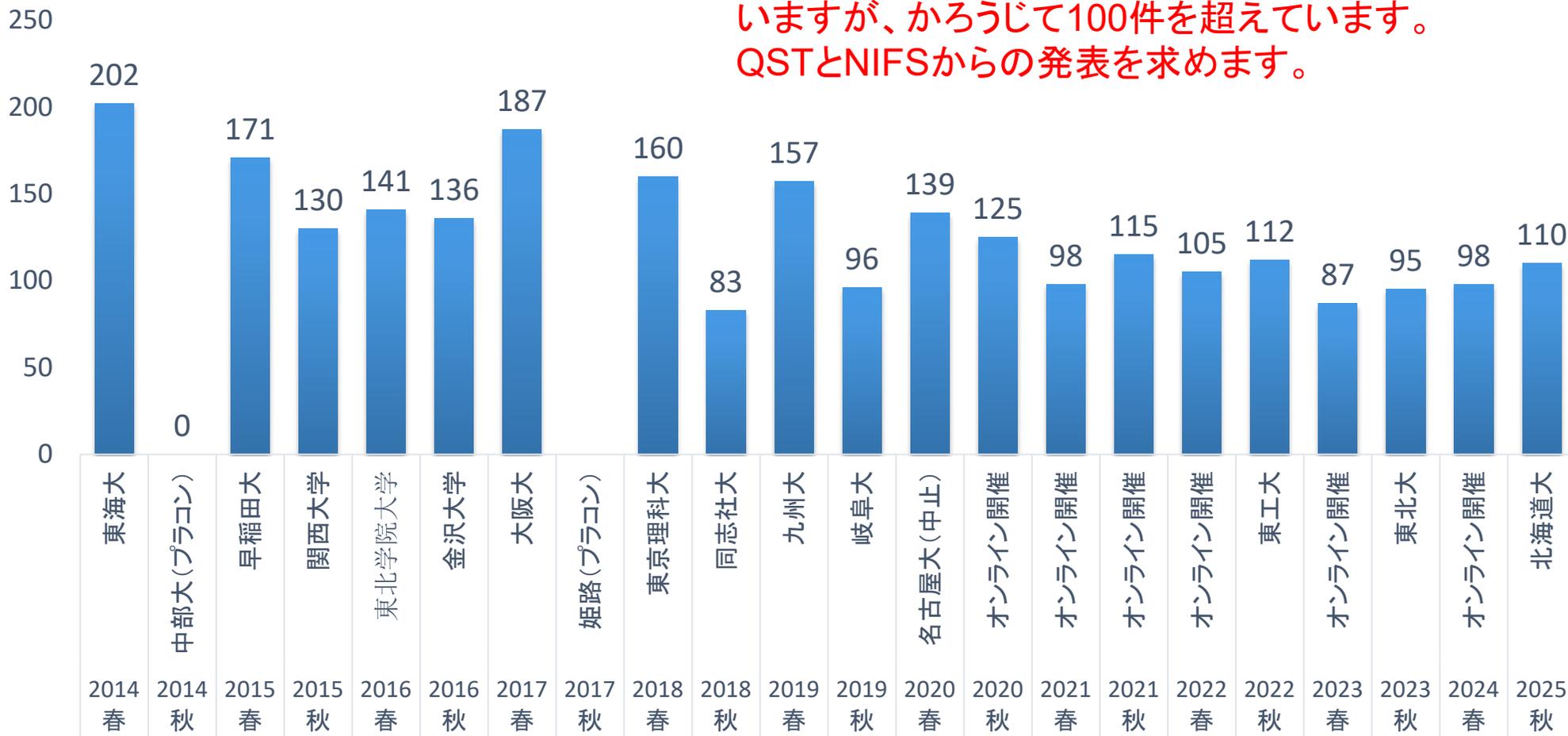
**「スクーリング・ネットワークキング事業Fusion Science School」との連携**

**会合名:「核融合科学の魅力」市口先生より**

**日時: 9/18、明日の昼(12:30～13:15)@ B155 で45分間、キックオフのきっかけとして企画しました。この社会情勢ですので、やりましょう!**

## 領域2講演数の推移(昨年度のデータ)

今回、レーザー核融合の国際会議と会期が重なっていますが、かろうじて100件を超えています。  
QSTとNIFSからの発表を求めます。



■ 系列1

※Plasma Conference 2017 一般講演(物理:135件, プラ・核:415件)

- 長い間、「シンポジウムの開催など、講演数増加の対応策の検討が必要」と言われているこの点に合わせて、スクーリングネットワーキングも使って振興に繋げたい。

## 重要 ご意見伺い

### 領域のあり方と現状の課題についての意見を伺います

大会担当理事

大会で領域制が導入されてからおよそ四半世紀が経ちます。当初は5年をめどに領域の構成を再検討することとなっていました。実行されずに今日に至っています。こうした状況のもと、物性分野の一部の領域から運営に支障をきたしているという相談が理事会に来ています。そこで、今後の検討材料にすべく、物性領域(領域1から領域12まで)で活動する会員に以下をお伺いします。

- 領域2の運営に支障があるかどうかなど、現状の課題

- 領域2のあるべき姿についての意見

例えば、領域2に関するもの、物性の領域全体にわたるものなど

- その他、領域制に関する意見

## 第7回(2026年)米沢富美子記念賞

領域2から2名を上限として授賞候補者を推薦することができます。

現在1名のキャリアオーバーがあり、あと1名推薦できます。

領域2の締め切りは、2025年10月17日(金) (学会締切は10月22日)とします。

応募書類の提出先は、領域2副代表、江尻 ([ejiri@edu.k.u-tokyo.ac.jp](mailto:ejiri@edu.k.u-tokyo.ac.jp)) です。

(以下は抜粋)

### 授賞の対象者

日本物理学会（以下、本会）の女性会員で、最終学位取得後15年以内の方（最終学位が修士、学士の場合はその学位取得後）。諸事情により物理分野での活動に空白期間があれば、その年月は考慮します。

### 評価対象

米沢富美子記念賞（以下、本賞）の選考においては、研究業績、物理学教育活動、本会活動への貢献、その他物理学分野の発展に関わる社会的活動などの業績一般を評価対象といたします。本賞は、本会が授賞する他の賞からは全く独立です。

# 第1回かどで賞

応募(推薦)方法の詳細については一般財団法人かどで会ホームページ  
<https://kadodekai.upriver-kuro.com/apply.php>

締め切りは12月12日(金)です。

候補者資格：

日本国内で研究に従事した経験を持つ**キャリア形成期にある若手研究者**であること。

審査基準・審査内容：

(1)日本国内で行われた物性物理及び関連分野の研究に関して、学位取得前又は学位取得後6年以内に公表された第一著者論文(掲載済、又は掲載決定済)の評価を基本とする。

(2)独創的な研究手法の開拓や新規な研究テーマの提案を通じた上記分野への貢献度を審査する。例えば、新たな実験装置や測定手法の開拓、新規な物質やデバイスの開発、オリジナルな理論モデルや計算手法・解析手法の提案、等を対象とする。

**推薦方法：自薦・他薦不問**

**表彰：原則として1件、受賞者には賞状及び副賞(30万円)を授与**

# 80周年記念国際シンポジウム開催(2026年9月)のお知らせ

大会担当理事

来年、日本物理学会設立80周年を迎えることを記念して国際シンポジウムを開催します。

- 本シンポジウム（来年秋の物理学会の直前の日曜日）
  - 日程、場所:2026年9月13日(日)、東京大学駒場キャンパス
  - 国際的に活躍する研究者10名ほどの招待講演を中心に構成されます。
  - 人選、参加登録などの詳細は現在、実行委員会で検討中です。
- 第81回年次大会(9月14日～17日、東大駒場)でも本シンポジウムと関連したサテライトシンポジウム(国際シンポジウム、4本程度)を企画します。
  - 形式は大会のシンポジウムと同じですが、国外からの講演者の旅費等を学会が一部負担します。
  - 本シンポジウムの講演者が固まった後、実行委員会でテーマを設定し、関連する研究者に企画していただくようお声がけします(2025年12月頃)。ご協力よろしくお願いたします。
  - 領域から提案されるシンポジウムとのコンフリクトを避けるため、2026年3月までにはサテライトシンポジウムのプログラム案を決定、周知する予定です。最終的には6月の領域委員会で要承認。

# 「領域2懇親会」

日時:9月17日(火)19:00~

会場:「しょうの助」

西条駅の南側です。

学生 2,000円

その他 5,500~6,000円程度

今日で帰られるシニアの方、  
カンパ、喜んで頂戴します！



# 「領域2研究室ツアー— 鈴木 & 難波研究室」

9/18 (木) 17:15 集合@B159室

9/19 (金) 10:00 集合@B159室